

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		行政改革推進事業						予算事業名		行政改革推進経費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				02	01	01	1101	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営)						事業の区分		主要事業						
		5-2自立した行政経営の確立(行財政運営・広域連携)														
		①効率的な行財政運営						担当課係等		総務課						
5行政改革の推進						行政経営係										
事業期間		継続(年度～平成32年度)														
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
行政の組織や事務事業の見直しにより、事務の効率化、経費節減等を図り、持続可能な行政運営基盤の構築を目指す。								行政運営のため、必要不可欠である。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
・第4次行政改革大綱・改訂版の策定及び進捗管理 ・第5次行政改革大綱の策定及び進捗管理 ・公共施設等総合管理計画の進捗管理 ・個別施設計画の策定 ・窓口業務委託 ・文書管理システム委託								・職員 ・公共施設等								
								【事業をとりまく環境の変化】 行政サービスやコストに対する市民や議会の関心は高く、今後、ますます効率的・効果的で持続可能な行政運営が求められる。 また、公共施設マネジメントについては、人口減少等による施設の需要の変化を踏まえ長期的な視点で、施設の更新、統廃合、長寿命化等を計画的に行うため、個別施設計画を策定する。								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】								
・個別施設計画の策定 ・窓口業務の検討 ・文書管理の見直し				・第5次結城市行政改革大綱の策定 ・個別施設計画の策定支援業務委託 ・窓口業務委託の検討 ・文書管理システムの導入検討				・第5次結城市行政改革大綱の進捗管理 ・窓口業務委託の検討(委託料) ・文書管理システム委託								
■事業費																
				H29年度		H30年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	13	613									
歳入計(千円)				13		613										
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)			金額(千円)									
	01	報酬		0			84									
	09	旅費		13			10									
	13	委託料		0			519									
歳出計(千円)(A)				13		613										
伸び率(%)						4,615.38										
備考	総合計画 138ページ 予算書 34ページ															

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	行政改革大綱の進捗管理	項目	目標	30.00	25.00	0.00
	担当課から行動計画の実績を徴収する。		実績	0.00	0.00	0.00
	行政改革大綱の見直し	項目	目標	30.00	25.00	0.00
	担当課から行動計画の実施スケジュールを徴収する。		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	行政改革大綱の実施状況の総括	回	目標	0.00	1.00	0.00
	成果のとりまとめ及び公表を行う。（推進期間：平成25年度から平成29年度まで）		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	強固な行政基盤を構築し、中長期的に安定した行政運営を持続するために必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手段が目的の達成に効率的かつ効果的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	コスト、人員ともに効率性は高い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	行政改革の推進は、行政サービスという形で広く市民に還元される。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	各推進項目の達成により着実に成果が向上している。未達成の項目については、担当課に対して引き続き推進していくよう促していく。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	概ね順調に行われている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
毎年度の進捗状況や社会情勢の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて随時見直しを行う必要がある。また、可能な限り数値目標を設定することにより現状の成果を客観的に評価し、課題に取り組む。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
民間委託の積極的な活用やメリハリのある事務の効率化などにより、職員の負担軽減による働き方改革の推進と行政サービスの向上との両立を目指す。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 本市を取り巻く行財政状況は、新庁舎建設や少子高齢化の進展、公共インフラの大量更新時期の到来などにより、今まで以上に厳しくなるため、今後、更なる業務の効率化や民間委託の推進などを図り、経営的の視点に立った行政運営を行う必要がある。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。